

単位数	3	学科(型) 学年	工業科 1年	教科書 副教材等	高校数学 I (実教出版) 高校数学 I 専用スタディノート (実教出版)
学習目標	数と式、2次関数、三角比、集合と論証及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようになるとともに、それらを活用する態度を身に付ける。				
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第1章 数と式 1節 整式 2節 実数			<ul style="list-style-type: none"> 数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、1次不等式及び2次不等式についての理解を深め、それらを活用できるようになる。 	
2	3節 方程式と不等式 第2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次関数の値の変化 第3章 三角比 1節 三角比 2節 三角比の応用			<ul style="list-style-type: none"> 2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察や、2次不等式を解くことなどに活用できるようになる。 直角三角形における三角比の意味、それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようになる。 	
3	第4章 集合と論証 1節 集合と論証 第5章 データの分析 1節 データの分析			<ul style="list-style-type: none"> 集合に関する基本的な用語・記号について学習する。 統計に関する用語の意味や扱いについて学習し、さまざまな資料を収集、整理しながら、平均値、中央値、最頻値、四分位偏差、分散、標準偏差について学習する。 	
評価の観点		内 容			
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> 数学 I における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりできる。 			
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> 数や式を適切に変形する力や図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、表や式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象から設定した問題について、適切な手法で分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けることができる。 			
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりすることができる。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりすることができる。 			
評価方法	<p>学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。具体的には、おもに「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「提出物(ノート・プリント・レポート)」、「小テスト等」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は上記の観点から評価した各学期の成績の相加平均とし、5段階法でも評価します。</p>				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査は授業の内容から出題します。また、対策プリントが配布された場合は各自でしっかり復習してください。 ○ 宿題や課題は必ずやり遂げましょう。また、提出物は丁寧に書き、必ず提出期限を守り提出しましょう。 ○ 授業中は先生の指示(聞きましょう。書きましょう。話し合ひましょう。など)をしっかり聞き、指示された通りの活動を行い、授業に積極的に参加してください。 ○ わからない内容がある場合は、遠慮しないで積極的に質問してください。 ○ 総合基礎との関係で、7月から3月までの期間にまとめ取りを実施し、1週間あたり4単位で授業を行います。 					